

事業番号	02 05 02	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input checked="" type="checkbox"/> 予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	並行在来線対策事業費			担当課	部局	企画部
					課・室	交通政策課新幹線・在来線企画室
総合5か年計画	プロジェクト	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実		E-mail	tetsudo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	◆新幹線の整備促進		実施期間	H18 ~	

1 事業の概要

目指す姿	平成26年度末の北陸新幹線金沢延伸により、JR東日本から経営分離される長野以北並行在来線の安定的な経営を確保する。自分たちの鉄道(マイレール)という意識を醸成し、住民が主体となり、地域全体が継続した利用促進に取り組む体制を構築する。経営主体となるしなの鉄道において初期設備投資、開業準備等を着実にを行い、新幹線金沢延伸時の開業を万全なものとする。成果目標:鉄道の営業キロ数750.2km(H24) → 780.1km(H29)				
現状	○平成24年3月に「長野以北並行在来線経営基本計画」を策定し、同年4月にしなの鉄道株式会社が経営引受けを決定した。 ○しなの鉄道では、平成24年4月に「長野以北開業準備室」を設置し、開業に向けた初期設備投資及び開業準備に取り組んでいる。				
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()		【左記の説明、根拠法令等】 ・沿線市町と連携し、並行在来線の維持を図ることは、新幹線着工時からの県の責務である。		
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)				
	○しなの鉄道(株)、住民組織の代表、県・沿線関係市町、関係団体等が参加した運営協議会(仮称)を設置し、地域一体となった利用促進に取り組む。 ○開業までのスケジュールに沿って、円滑な初期設備投資及び開業準備に取り組む。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25実施内容	H24(当初)	H25(要求)
1. 長野以北並行在来線対策協議会等負担金	負担金	・しなの鉄道(株)、住民組織の代表、県・沿線関係市町、関係団体等が参加した運営協議会(仮称)の設置 ・利用促進に向けた、勉強会、ワークショップ等の開催	17,271	300	185
2. 長野以北並行在来線開業準備事業費補助金	補助金	・初期設備投資、開業準備への補助	0	276,249	301,097
3. 長野以北並行在来線対策経常事務費	直接	・職員旅費等	800	800	800
合計			18,071	277,349	302,082

事業	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
		予算額	前年度繰越	0	0	0
	当初予算	329	9,114	18,071	277,349	302,082
	補正予算	0	0	52,412		
	合計(A)	329	9,114	70,483	277,349	302,082
コスト	国庫支出金	0	0	0	0	
	県債	0	0	38,000	164,000	215,000
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	329	9,114	32,483	113,349	87,082
	決算額(B)	329	8,596			
ト	概算人員費	職員数(人)	0.20	0.20	0.40	0.40
	概算人員費(C)	1,663	1,652	3,303	3,303	3,303
	概算事業費(B(A)+C)	1,992	10,248	73,786	280,652	305,385

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	

要求からの主な変更点	・長野以北並行在来線対策協議会等負担金については、利用促進のための勉強会、ワークショップ等の開催回数を減らし、負担金を減額 ・長野以北並行在来線開業準備事業費補助金については、当初、平成26年度に予定していた設備分離工事の一部について工程等を調整した結果、一部を前倒して実施する必要が生じたため経費を増額
------------	---